まくはり
Baytown News
第126号(2007年11月1日号)
幕張ベイタウンニュース編集局

立派に育ったメッセ大通りの

かなり傾いているケヤキ

花を咲かせたブラシノキ（ミラリオ西側の打瀬

アメリカシロヒトリが発生したモミジバ

ただいま打合せ中！

秋晴れを愛でつつ街路樹調査を実施

秋も深まりそろそろ街路樹が色づき始める季節です。今年も10月20日（土）、ベイタウンの緑化に取り組んでいる住民グループ「ベイタウングリーンサム」による「街路樹調査」が行われました。

元気のない街路樹を心配して始まったこの調査ですが、実際調べてみると899本中根付いた木は433本というデータ（2002年調査）からもわかるように、かなり厳しい状況が浮き彫りになりました。原因としてはベイタウンに海から吹き込む南西風による塩害、海辺の乾燥した環境に合わない樹種の選定などが考えられました。

グリーンサムでは、こうした調査結果を自治会連合会を通して千葉県企業庁に提供し、街路樹を目にして生活する住民ならではの意見を進言してきました。その結果、打瀬北通り（セントラルパーク～公園東の街～西の街の南側の通り）の海側で枯死寸前だったユリノキに替えて、ベイタウンの環境に合ったナンキンハゼを植えるといった樹種変更も実現しました。

ここ2年ほどは、海側にマンションが建ったことでかなり塩害が改善され、紅葉の前に枯れて葉を落とすなどして一時期心配された、イチョウやモミジバフウも目に見えて元気を取り戻してきました。しかし、昨年新たに植えられたエリアや、病害虫のダメージを受けている木々など、まだまだ予断を許さない状況にあるため、街路樹の状況をデータベース化する作業に2006年から着手しました。

実際には、現在1200本に及ぶ全街路樹1本1本の位置を確定してナンバリングし、調査参加者が自分の目で見た木の元気度を「○」「△」「×」の三段階で評価を行います。さらに病害虫の有無や支柱や植枡、剪定や樹形などの状況をコメントとして書き込みます。また、今年からは「問題あり」とされた木については、企業庁に実地調査を依頼するため写真を撮ることになりました。

当日はお天気も回復し、気持ちのいい秋晴れのなか一般参加者も含め15人が4班に分かれ2時間あまりをかけて、街路樹をウォッチングしました。バレンタイン通り（トチノキ）を東西に歩く班もあれば、メッセ大通りを南北（ケヤキ）に歩く班もあります。木を1本1本見ては、「これは元気だねぇ、よしよし」とか、「こんなに傾いても頑張ってるね」とか、「これは発育不良かな」といった調子です。エンジュのように、元気か元気じゃないかがわからない木もあり、人間にもこんなタイプがいるなぁ…と可笑しくなったり。打瀬中通り（2・4番街～11番街の西側の通り）では、これから紅葉が美しいモミジバフウの木にアメリカシロヒトリが発生しているのを発見。周りの木にも影響が見られました。ちょっと心配です。

それぞれの調査を終えて、コアに戻ってきた参加者からは「こんなふうに街路樹を1本1本見ることができて楽しかった」「ベイタウンの木が前と比べて鬱そうとして来ている」「春とまちがえて新緑や花をつけている木があった」「根元の植枡の手入れがされていないところがあった」など、自分の目に映ったベイタウンの街路樹についての報告が聞かれました。どの顔にも調査を終えた充実感がうかがえます。今回の調査結果はデータにまとめて企業庁に提出するほか、グリーンサムのホームページ、コアのアトリウムの掲示板でもお知らせしていく予定です。 **【佐藤／写真提供：グリーンサム】**

アンケート結果から見えてきたベイタウン住民像

先頃実施された住民アンケートの結果については、主催者（自治会連合会・ベイタウン管理運営研究担当）作成の折り込み別紙に詳しいが、ここでは特に移管問題に限定して、記者の主観的観点からの分析をしてみたい。

まず、現在のベイタウンの管理レベルについては、ほぼ８割の人がほぼ満足しているようだ。やや不満、もしくは、非常に不満と感じている人の「不満」の内容・程度については、自由意見の分析を待たなければならない。

次に、情報発信については、ベイタウンニュースでも度々報道し、自治会連合会のホームページでの情報発信や、ベイタウン祭や個別でのフォーラムも開催されてきたが、あまり知らない、もしくは、良く分からないという人が多いようだ。かく言う記者自身も、情報にはかなり近い立場にいながら、やはり今進められている議論の主体者や方向性（ベクトル）が良く分からなくなっている。

この問題への関わり方に関する考え方についての回答結果は興味深い。内容を知り、参加すべきと考える積極派が７割程度いる一方で、「要望さえ出せれば、後はお任せ」と考えている人が３割近くいることになる。アンケートに回答を記入し、提出すること自体が比較的この手の住民活動への関心の高い住民層ということを考慮すると、街全体としての関心度は果たして高いと言えるのだろうか、と疑問を感じてしまう。

住民参加については、自主管理もしくは一部負担をあわせると45% の人が積極的参加の意志を持ち、「できる範囲で」を合わせると９割近くの人が何らかの形で住民参加すべきと考えているようだ。ただし、この「参加すべき」と考えている人たちのうち、どれだけの人が実際に参加呼びかけがあったときに手を挙げるのか、昨今の住民活動（自治会連合会等）で見かける顔ぶれが固定化していることを考えると、未知数である。

金銭的負担については、はっきり負担すべきでないという人が４割強いた。フォーラムでも、「今のレベルを前提として入居したのだから、開発者側がそのレベルを維持するのは当然」という意見があった。なお、「地代をレベル維持のために使えるはず」という意見もあったが、開発者側の説明では、地代は埋め立て・造成費用の償還のために使われる、ということで、管理目的ではないとのことだった。

ベイタウンニュースでは、総回答数 2,333（回答率 29%）という多くの協力を得たこの住民アンケートの結果をどう活かして今後の活動につなげて行くのか、『幕張新都心住宅地区の管理運営のあり方研究会』の動きを注視するとともに、情報発信・公開については今後も積極的に協力して行きたい。末筆ながら、これだけの規模のアンケートを実施し、回収・集計を行った主催者およびボランティアの方々に感謝の意を表明したい。ありがとうございました。

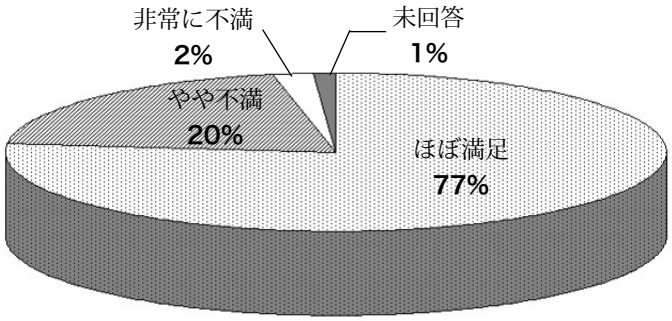
【板東】

次回『移管問題を考える会』の開催案内

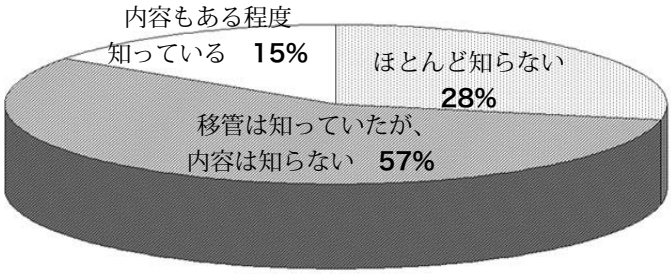
この問題を、住民の立場で検討・行動するために、『移管問題を考える会』を月１回のペースで開催しています。住民であれば、どなたでも気軽に参加できます。次回開催は下記のとおりです。移管問題もしくは住民によるタウンマネジメントに興味のある方、また、こういった分野に知識・専門性を持ち、助けて頂ける方、今からでも遅くはないので、ぜひご参加下さい。メーリングリストも開設しています（参加は、baytown-management-subscribe@yahoogroups.jp まで空メールを！）。

日時：11 月 17 日 (土)、10:00 ～ 12:00

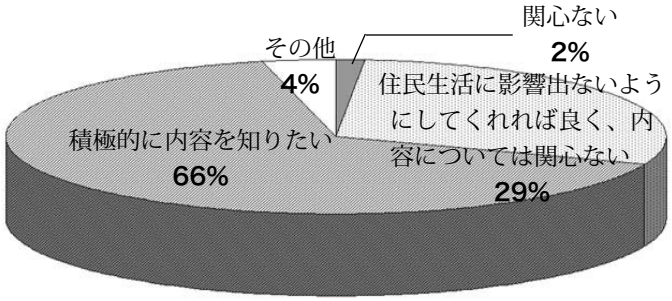
場所：パティオス 10 番街集会室（バレンタイン通り側から直接入れます）



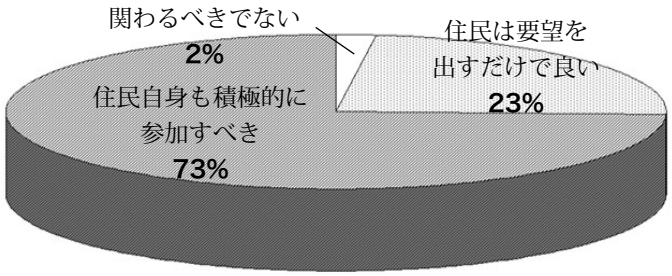
全体の管理状況について



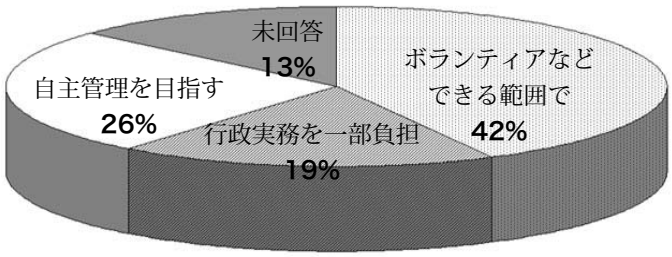
情報の発信・公開について



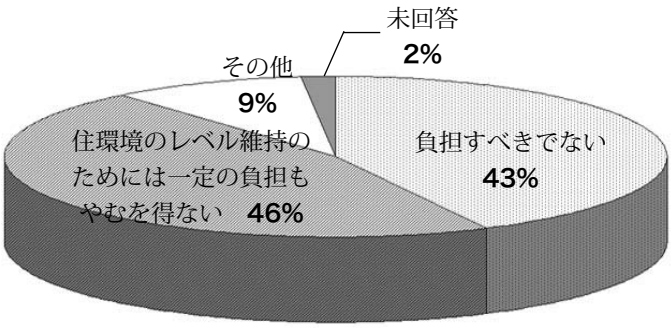
移管についての関心



行政と住民の関わりについて



住民参加の程度



管理・運営に住民が関わった場合の費用負担

「ひまわり会」創立 10 周年記念の集い

10 年前までは一面の埋め立て地だったベイタウンの街も、今では高層マンションが立ち並び近代的な美しい街になりました。その街でひまわり会は「中高年女性の会」として 10 年前に誕生いたしました。現在の会員数 40 名がコアを拠点に元気で楽しく活動しています。保育園、小中学校のふれあい教室のお手伝い、コーラスサークルなど多方面に「老い」の時間を元気に過ごせる素晴らしさを感謝しています。その感謝の気持ちを下記の催しにいたしました。どうぞ、ご家族お揃いでお出かけくださいますようにお待ちいたしております。

主催：ひまわり会

日時：11 月 24 日（土）13:00 ～
場所：ベイタウン・コア　ホール
入場無料

プログラム
1. ピアノ独奏　西山季美（ひまわり会員）
　シューベルト　セレナーデ
2．パネルシアターかくれんぼ 「ふくろうの染め物や」「世界歌のたび」など 8 曲
（ブラックパネルの、ふしぎな世界をお届けします）

写真はひまわり会創立の頃、メッセ大通り沿いの歩道部分（現在のアスレチック公園のあたり）に咲いていたヒマワリ。

11 月のコア・イベント

11/10（土）
寺子屋手芸教室
「ダブルペンケース」
時間：9：30 ～
場所：ベイタウン・コア　工芸室
持ってくるもの：ハサミ、針（太い穴）、手ふきタオル

11/24（土）
寺子屋工作ランド
「ドングリの実のヤジロベエ」
時間：9：30 ～
場所：ベイタウン・コア　工芸室
持ってくるもの：小刀、工作用具
参加費：50 円（材料費）見本をコアの掲示板に展示しています。

11/25（日）
第 56 回ファツィオリの会
時間：9:30 ～ 11:30
場所：ベイタウン・コア　音楽ホール
月に一度のフルコンサートグランドピアノ「ファツィオリ」を弾ける会です。
ピアノ以外の楽器の演奏や歌も大歓迎です。
非公開での演奏も受け付けています。
申し込み締め切り日：11 月 18 日（日）
連絡先：TEL/FAX：043-211-0273（阿曽）

餅つき存続の危機　（青少年育成委員会投稿）

毎年恒例の『餅つき会』存続の危機です。
毎年 1 月にコアの中庭で行う打瀬中学校区育成委員会主催の『餅つき会』今年は、餅つきに必要な臼と杵が調達できず、存続するかどうか検討を重ねています。昨年までは、ベイタウン自治会連合会、その他近隣の町内自治会より臼と杵を借りて実施してきましたが、本年借り物の臼・杵を破損する事故が発生しました。近隣のご好意に頼って参りましたが、今回の事で自前での存続を考えております。この会は 、新しい街ベイタウンに定着し、毎年 1,000 人もの子ども達が、楽しみにしています。ご実家で、お知り合いで、不要になった臼・杵、御寄贈いただける方を探しています。（詳しくは後日相談）

連絡先　打瀬中学校区育成委員会事務局　打瀬中　青木教頭
TEL：（211）0344　FAX：（299）2832

ベイタウンニュースの発行にご協力ください

ベイタウンニュースはこれまでボランティアで配布をお手伝いしてくださる「ベイタウンニュース・サポーター」のみなさんの力で、毎月第一土曜日に全戸配布をしています。しかしベイタウンの人口が増え、発行部数が増えるに伴い、サポーターの数が不足しています。特に新しくオープンした番街から配布をお手伝いいただけるサポーターの数が少なく、配布が困難になっています。

ベイタウンニュース配布の会は毎月第一土曜日、午前 10:00 からベイタウンコア、講習室で行っています。小学生からシニアまで、50 人もの方が参加しています。毎月でなくできる時だけで結構です。是非みなさまのご協力をお願いします。

まくはりベイタウンニュース編集局
松村守康
e-mail：mazmbtn@yahoo.co.jp、TEL/FAX：211-6853

Hello to the World!! Labo Party

ラボパーテイーは「言葉が子供の未来をつくる」を合言葉に 1966 年に発足した言語教育団体です。おもに英語圏を中心に親しまれている歌や、世界の名作絵本・物語を楽しみながら子供達の潜在的な言語センスを育み豊かな感性をじっくり育てる教育プログラムです。又たくさんの国内、国際交流活動を通して子供達の真のコミュニケーション力を養います。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**ラボそのだパーテイー**＊＊＊＊＊＊＊＊＊
活動日毎週金曜日 プレールーム（未就園児）、キデイークラス
小学生以上クラス＊体験随時・詳細はお問い合わせください！
場所　パティオス 16 番街　集会室
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
～ベイタウン在住者による子育て支援のコラボレーション～
＊＊＊＊＊**秋のマザーグースのつどいのごあんない**＊＊＊＊＊
日時　① 11 月 9 日（金）② 11 月 16 日（金）　10：30 ～ 12：00 場所　パテイオス 16 番街集会室　　＊参加費無料＊
プログラム　指遊び、ナーサリーライム、絵本のお話の世界で楽しく遊びましょう！ママ達への子育てワンポイントアドバイス！
① 9 日　“子供の考える力を伸ばす
幼時期からの親子関係のつくりかた”
親業訓練インストラクター　　石井志乃
② 16 日　“子供にとっての絵本の大切さ”
　千葉市中央図書館地域ボランテイア　岩崎喜久子
お問い合わせ・申し込み　　ラボテユーター　園田理恵
電話＆ FAX　043-216-2626
e-mail　　labosonodaparty@hotmail.cojp

海浜公園で ハローウィンパレード

「幕張海浜公園まつり'07秋」

猫のお化けもいたよ

ワンちゃんも仮装して参加？

こちらは犬のしつけ教室

10月の3連休の中日、7日(日)は気持ちのいいお天気に恵まれた。行楽日和に誘われて「幕張海浜公園まつり'07秋」のイベントを取材に出かけた。ベイタウンから会場となる海浜公園D・Eブロックへ向かう道すがら、親に手を引かれた可愛い魔女やお化けたちに出会う。今年のメインイベント「ハッピーハロウィンパレード」の小さな参加者たちだ。

集合場所には、既に様々な仮装をした人たちがパレードの開始を待っていた。わが子（もちろん、一番カ・ワ・イ・イ！）の仮装姿を写真におさめようという親たちの姿が目立つ。主催者側は用意したお菓子が足りなくなるのではと、ちょっと心配そうだが、過去最高の参加者数に自然と顔がほころぶ。夷隅町の農産物直売所から届いた巨大なカボチャも目を引く。ここではカボチャのジャコランタンづくりが行われており、ハロウィンムードを盛り上げていた。

あまり利用されていなかった海浜公園（D・Eブロック）の利用を住民たちで考えようと始まったこのイベントも今年で7回目。ボランティアによる手作りイベントで、現在は「NPO幕張海浜公園を育てる会」が事務局となり、普段公園を利用している団体が集まって祭りの企画運営にあたっている。今年は初めて実行委員会方式をとった。各団体から代表が集まりミーティングを重ねた結果、まつりを成功させるために一つにまとまることができたという。また、早い時期（4月）から準備を始め、「ハロウィンパレード」という初めてのプログラムに取り組んだことも大きかった。各種メディアにも取り上げられた。

当日は、ピザ焼き体験、ドッグトレーニングとマッサージ、インラインスケートかけっこ大会、縄跳びデモンストレーション、松林での探検・自然学習、野点などのプログラムはどこも盛況で、思い思いに公園で休日を満喫する人々の姿が見られた。これは「育てる会」がめざす海浜公園のあり方に限りなく近いものではなかっただろうか。9月号でお知らせしたようにバレンタイン通りから海浜公園へとかかる歩道橋の建設が予定されており、ベイタウンからのアクセスは格段によくなる。

いっぽうで民間企業に公園の管理・運営を委託する動きもあり、貴重な海と連動したオープンスペース、どうすれば魅力的な場所になるか…今後も利用者側から声をあげ続けていくことの重要性を感じた。【佐藤】

大規模修繕工事　体験記（1）

2007年9月。我がパティオス10番街でも大規模修繕工事が始まった。1996年に入居して12年。入居した頃は輝いていた10番街も記者の身体と同じく、そろそろあちこちきしみが出てきた。ここらで人間ドックならぬ大規模修繕でリフレッシュだ。

工事期間中は外壁に足場が作られ窓が開けられない。洗濯物が干せないし昼間も廊下や部屋が暗くなるなど生活面でもいろいろ大変だ。この記事では今後ベイタウンのあちこちで行われる工事の参考にと、我が家の工事体験をリポートした。【松村】

工事開始1日前の9/2日、工事業者による説明会が行われた。これまで工事業者の選定や予算などを知らせるビラは管理組合から何度も説明されていたが、今回はいよいよ実際の工事の間生活にどんな制約があるのかを説明する会とあって関心が高く、集会室はすぐに満員となった。生活に密着することだけに女性の参加が多い。

会議では工事業者より不便になる点や気を付けることなどが説明された。印象に残るのは足場は泥棒にとっても格好の進入路となる可能性があるので、施錠をしっかりと注意を受けたこと。言われてみれば確かにその通りだ。工事業者では無料でサッシに使えるカギを貸してくれるとのこと、早速我が家でも各部屋の窓全部にカギをつけることにし、7個のカギを借りることにした。

マンション外壁には足場が組まれ、外側にネットが張られる。ネットの内側では人が足場に設けられた廊下や階段を使って、上にも下にも自由に動き回れる。朝起きて窓を開けるとそこに工事の職人さんが居たということにもなるので、期間中カーテンは必ず閉めるようにと注意があった。

会議で質問が多く出たのはベランダ部分の工事に伴う物品の整理についてだ。工事ではベランダ部分も高圧洗浄してシーリングをおこなう。このため期間中はベランダには物が置けない。植木やガーデニング用品も片づける。エアコンの室外機も施工業者が調査し、置いたまま工事できない場合は自費で移動させることになる。どの程度のものなら移動させずにすむのか、植木や大量の荷物を一時的に置く場所は用意できないかなどが質問されたが、このあたりは事前に管理組合と住民との間で共同でコンテナの物置を借りるなどのことができればスムースだったろうと思う。

植木の一時避難でできた「中庭ガーデニング」。各棟ごとに場所が割り当てられている。

日常生活で最も不便なのは洗濯だ。これについては洗濯できるかどうかを工事業者が毎日掲示板で知らせてくれることになった。

次回はいよいよ職人さんがベランダに入って、高圧洗浄とシーリングを行う。

（写真左）外壁にできた足場には廊下と階段ができていて、職人さんが自由に行き来できる構造になっている。（写真右）なんと鳥の巣発見。ベランダの大掃除をしていて、物置状態になっていた荷物の下から出てきた。大きさから「セグロセキレイ」のものらしい。古い巣で、使われなくなって時間がたっていたが意外にしっかりしていて、ホウキではいたくらいでは取れなかった。